

平成 29 年度「全国学力・学習状況調査」結果について

4月に6年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施され、その調査結果が千曲市報（11月号）で公表されました。本校でも調査結果を分析し、成果と課題を明らかにして、これからの学習指導に役立てていきます。今後さらに学力向上の取り組みを進めるために、家庭との連携は欠かせません。成果と課題を保護者の皆様と共有していかれるよう、本校の全国学力・学習状況調査の結果についてご報告いたします。

(1)教科に関する調査結果の概要（平均正答率と考察）

調査内容	学 習 指 導 要 領 の 領 域
国語A 知識に関する問題	○全国・長野県の平均を上回りました。 ①「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」は相当数の児童ができています。 ②「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は多くの児童ができていますが課題もあります。
国語B 活用に関する問題	○全国・長野県の平均を上回りました。 ①「話すこと・聞くこと」「読むこと」は多くの児童ができています。 ②「書くこと」はほぼ全国平均と同水準です。
算数A 知識に関する問題	○全国・長野県の平均を上回りました。 ①「数と計算」「図形」「量と測定」は相当数の児童ができています。 ②「数量関係」は多くの児童ができていますが、課題もあります。
算数B 活用に関する問題	○全国・長野県の平均を上回りました。 ①「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」は相当数の児童ができています。

【国語】

- ① AもBも国語の力は十分ついていると判断しています。
- ② 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に関して「対象」を算数の「対称」と勘違いしている児童がいました。同音異義語など熟語の学習に力を入れて、語彙を増やしていきます。また、送り仮名を正しく書けるようにも指導していきます。
- ③ 手紙の後付けの書き方を誤っている割合が高かったです。メールでのやりとりが増えている社会的状況もありますが、手紙やはがきの正しい書き方を丁寧に指導していきます。
- ④ 俳句のよさを紹介する文章を適切な資料をもとに書いていくことや登場人物の行為を説明するような論理的な文章力を書く設問の正答率が低かったです。資料を効果的に使って自分の考えを説明していく学習の充実を図っていきます

【算数】

- ① 算数においては、A・Bどの領域についても全国・県の平均をかなり上回っていました。大変力がついていると判断しています。毎日のスキル学習の取り組みや必要な条件に合わせて読みとる学習を進めてきた成果が表れています。
- ② 「数量関係」の二次元の表において示された式の中の数の意味を関連づける設問では、平均より下がっていました。表にまとめるよさを感じさせ、資料を分析的に考察できるような授業改善を図っていきます。

(2) 生活習慣や学習習慣に関する調査結果の概要

	質 問	「はい」の割合(%)	全国・県との比較
生活習慣・余暇利用	毎日同じ時刻に起きたり、寝たりしている	88.0	全国・県を上回っている
	平日に2時間以上テレビゲームをしている	18.2	全国・県を上回っている
	平日に2時間以上テレビやビデオ・DVD を見ている	59.1	全国・県を下回っている
	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある	54.6	全国・県を上回っている
	話し合いでは自分と異なる意見のよさを生かしたり折り合いをつけたりしている	66.7	全国・県を上回っている
学習習慣	家で自分で計画を立てて勉強している	72.7	全国・県を上回っている
	平日に1時間以上家庭学習をしている	71.2	全国・県を上回っている
	読書は好きか	87.3	全国・県を上回っている
	目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりしている	57.5	全国・県を下回っている
	授業で学んだことをほかの学習や普段の生活にいかしている	78.8	全国・県を下回っている

□成果と課題

- ①早寝・早起き・朝ご飯（97%）と言われる生活の基本はほとんどの子が身につけています。
- ②平日に2時間以上ビデオゲーム（含むスマホ）をしている子は平均と比べてもかなり低い水準にあります。ただし、1時間以上となると平均と同じ状況になります。インターネットをする子の割合も全国以下となっています。各家庭でしっかり指導していただいている成果が見られ感謝申し上げます。
- ③平日2時間以上テレビやビデオを見ている子は平均より高いです。
- ④地域のために自分が何をしなければいけないか考えている子の割合がかなり高いです。「学校」「地域」「家庭」が連携して子どもを育ててきている成果が地域を愛する子どもたちにつながっています。
- ⑤多様な考えを認め合い、少数意見や自分と異なる意見に対しても良さを活かそうとし、折り合いをつけようと行動しています。このことが、子どもの安定した心情につながり、安心して学習に取り組む姿につながっています。
- ⑥家庭学習では自分で計画し、6年生の基準時間の70分以上できる子がたくさんいます。他学年でも「学年×10分+10分」の学習時間が習慣化していけますようお願いいたします。また、家庭学習の内容につきましても「家庭学習の手引き」を参考に復習だけでなく、予習もできますようお願いいたします。
- ⑦読書の習慣は、身につけていますが、課題解決に向けた資料をもとに、論理的に考えることについては、これからの課題です。また、学習内容と実生活が乖離していると考えられる子の割合が平均より多くなっています。

□今後の対応について

国語・算数では、毎日のスキル学習の取り組みや必要な条件に合わせて読む学習を進めてきた成果が表れています。さらに、自分の考えを相手にわかりやすく伝えるためにねらいに沿った話し合い活動を取り入れて、「伝え合い、響き合い、学び合い、友だちの名前がたくさん出てくる授業作り」の成果が表れています。さらに、論理的に説明する力を伸ばしていきたいと思えます。